

団体等におけるたばこ対策の取組

団体名	取組内容
岩永委員 (久山療育園重症児者医療療育センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内広報誌での禁煙のすすめ ・院内講演会での禁煙のすすめ
眞崎委員 (九州大学キャンパスライフ支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学経費による禁煙希望学生・教職員双方への禁煙支援プログラムの提供 (2010 年からコロナ禍の 2 年を除き継続中) ・学内の E-Learning システムによる敷地内禁煙の根拠としての受動喫煙防止教育 (2019 年から実施中) ・年に 2 回、各キャンパスで実施している禁煙啓発・受動喫煙防止啓発イベント (2010 年からコロナ禍の 2 年を除き継続中) ・各キャンパスにおける隠れ喫煙・タバコのポイ捨ての確認および各地区安全衛生委員会での毎月の報告と大学執行部への報告
公益社団法人福岡県医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」において、啓発ポスターを会館内に掲示するとともに、郡市医師会へ配布し会館等への掲示を依頼した。
公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙所の一部撤廃 ・協会けんぽの禁煙外来補助の紹介 ・特定保健指導にて禁煙指導
公益社団法人福岡県薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度より、卒煙サポート薬局事業を継続して実施している。昨年度終了時点における登録薬局数は延べ 900 軒を超え、今年度も 8 月 24 日 (日) に禁煙相談員養成研修を実施し、145 名が受講した。 ・また、学校薬剤師として、各小・中学校および高等学校において喫煙防止教室等の講演を行い、喫煙を未然に防ぐ取組みを継続している。 ・一方、喫煙者に対する禁煙支援については、一定の頭打ちの状況が見られることから、今後は喫煙者を生み出さない取組みとして、学生へのアプローチを重要な柱とする方向への転換を検討している。
福岡県料飲業生活衛生組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県料飲業生活衛生組合連合会が管理している「生活衛生食品会館」において、受動喫煙防止のため館内での喫煙をしないよう、令和元年度以前は、会館正面玄関前を喫煙場所としていた。 ・令和 2 年度以降は、「生活衛生食品会館」裏に利用者及び職員のための喫煙場所を設置した。 ・なお、(公財) 全国生活衛生営業指導センターが実施している「生衛業受動喫煙防止対策事業助成金」の利用を、支部等を通じて県内の飲食業者に勧めている。

<p>福岡県保健所長会</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保健所実習生に対し、たばこによる体への影響、受動喫煙対策、禁煙についての健康教育を実施。 • 当所最寄り駅ロータリーにおいて、学生等の駅利用者100名に対して、リーフレット100部を配布し、20歳未満の者に対して喫煙防止の啓発を行った
<p>福岡県教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童生徒への指導につながるものとして「薬物乱用等防止教育指導者研修会」を実施している。研修会の中で、未成年者の喫煙防止についても取り扱っている。 <p>(県立学校教員及び市町村立学校の教員を対象)</p>